

平成 30 年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 公益社団法人日本精神保健福祉士協会
事業名 アルコール健康障害・薬物依存症・いわゆるギャンブル依存からの回復のための地域ネットワーク構築にむけたソーシャルワーク人材養成及び普及啓発事業～事例検討型シンポジウム及びグループワークによる研修の開催～

<活動内容の概要>

アルコール健康障害・薬物依存症・いわゆるギャンブル依存からの回復は病気の治療だけでは限界がある。貧困や虐待、自死問題など彼らが抱えている問題は多岐にわたり、それらにはソーシャルワーカーの関わりが求められることが多い。私たちは依存症患者とその家族の生活課題を包括的に支援していくためにその人材育成、普及啓発、ネットワークづくりを目的に調査や研修を通し活動を行っている。

<事業の成果>

- ・依存症及び関連問題について医療・行政・福祉との連携や回復者団体との協働などの先駆的な取り組みを行っている地域のひとつである宮城県、東京都、長野県、大阪府へ出向きインタビュー調査を実施した。
- ・インタビュー調査を通して、地域特性による社会資源の格差、それに伴う具体的な支援の違いが明らかとなった。これらを活かし、地域性を踏まえたネットワーク構築への手がかりとなるよう、事例検討型シンポジウム及びグループワークによる研修を開催した。研修テーマは「みるみる・みえる・人の暮らしと依存症～確かなりカバリー支援と地域特性を生かしたネットワークのために」とし、東京都と大阪府の2ヶ所で開催した。両会場ともに申し込み開始後すぐに定員に達する盛況ぶりで、東京都で開催した研修ではより多くの方に伝達ができるようインターネットによる動画ライブ配信を行った。
- ・調査や研修を通して、それぞれの地域での課題の抽出、整理につながった。本年度の成果を生かし、次年度以降も継続してさらなる充実した活動を企画していきたい。

<東京会場／講義>



<大阪会場／事例検討型シンポジウム>



団体ホームページへのリンク

<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/hokokusyo/201903-addiction.html>